

医師不足 滋賀県内も深刻です

小児科・産科



野洲病院

相次ぐ「産科」の廃止…子どもを産む病院がない

全国的に医師不足が重大な社会問題になっていきます。特に産科医や小児科医の不足は深刻です。滋賀県内でも、病院産科医師は4年前に比べて10人も減っています。また、野洲病院でも、滋賀医大が小児科医師の派遣を中止したため、小児科日曜診療が「休診」しています。これでは、安心して産み育てることができません。日本共産党は7日、医師不足の根本原因を明らかにするとともに、「地域医療を守る緊急提案」を発表しました。

滋賀県内病院の産科の常勤医師は2003年と比べても全体で10名も減っています。

このような減少による影響で、医師確保が困難なため、分娩取り扱い病院が、この4年間に20病院から14病院へと減少しています。

小児科でも、3病院で常勤医師がいなくなっています。野洲病院の場合、これまで小児科医師を派遣していた滋賀医大が派遣を中止。その結果、昨年から小児科の日曜日診療が休診に追い込まれました。

このような医療実態

ですが県でも、「今後、この傾向はさらに深刻になると予想され、周産期医療および小児科医療に重大な危機をおよぼすと懸念される」と指摘しています。

医師確保対策にかかると、県内61病院のなかで、内科・精神科・産科の順に、うち43病院で92人の医師が不足しているという回答しています。

日本共産党が「緊急提案」を発表

医師不足の根本原因は、自民党政府の社会保障・医療制度の切り捨てにあります。政治が国民のいのちと健康を守るといふ本来の責任を果たすことが必要です。日本共産党の緊急提案では、産科・小児科医師の確保の緊急対策をはじめ、勤務医が安心して働ける環境整備、公的保険・公的医療の拡充で地域医療を立て直すための具体策を提案しています。

ホームページを開設しました

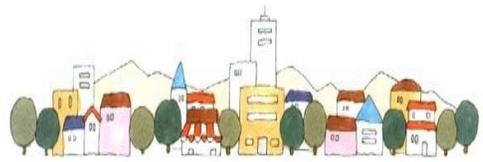
日本共産党滋賀県委員会が、ホームページを開設しました。ぜひ、ご覧ください。

日本共産党滋賀県委員会 <http://www3.ocn.ne.jp/~jcpshiga/>

野洲市議会議員団ホームページもご覧ください

小菅六雄市議 <http://www.yasusigi.net/~kosuga/>

野並享子市議 <http://www.yasusigi.net/~nonami/>



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2007年2月11日 114

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

2月28日から3月定例会市議会が開催されます。ご意見・ご要望をお寄せください

小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102